京都嵯峨芸術大学

広報 59

NEWS

最新の情報をお届けします。

理事会報告

学長選挙結果報告

森本武現学長の任期満了にともない、学長選挙を10月26日（水）に実施いたしました。
次期学長候補者として森本武（現学長）氏が推薦され、教職員による投票の結果、賛成多数による信任となり、翌日10月27日（木）の理事会で次期嵯峨美術大学学長（嵯峨美術短期大学学長を兼務）として承認されました。
なお、任期は2017年4月1日から就任、2019年3月31日までの2年間となります。
（学長選挙管理委員会）

事務局人事報告

■退職
荒芝 啓太（教務・学生支援グループ）
（2016年4月30日付）

■着任
遊道 更二（教務・学生支援グループ）
（2016年6月1日付）
角田 和明（管理運営グループ）
（2016年11月1日付）

（管理運営グループ）

大学報告

2016年度9月卒業式報告

9月7日（水）の教授会において、短期大学部5名の卒業を認定いたしました。
9月28日（水）に卒業式を挙行し、担当教員出席のもと森本武学長から学位記が授与されました。
（教務・学生支援グループ）

嵐芸祭無事終了しました！

このたびは、先日行われた学園祭「嵐芸祭」にお越しいただき、ありがとうございました。
今年のテーマは『パズル』。開催中の2日間はサークルによる模擬店やフリーマーケットはもちろん、芸大ならではの展覧会『嵐芸展』やライブペイント企画など、『パズル』というテーマのとおりいろいろな企画が行われ、学生をはじめ参加者の交流が深まったと思います。
そして、今年は2009年以来7年振りに最高来場者数の記録を更新し、嵐芸祭は活気と熱気で溢れました。
みなさまの「楽しかった」という言葉が、嵐芸祭実行委員一同の心の支えになりました。
大きな混乱もなく無事終えることができましたのは、みなさまのおかげです。開催に協力していただいたすべての方に厚くお礼申しあげます。また、いただきました貴重なご意見を、今後の運営の参考とさせていただき、来年度嵐芸祭をより一層良いものにするために奮励努力してまいります。
最後になりましたが、2016年度嵐芸祭にお越しいただいたことを重ねてお礼申しあげます。ありがとうございました。
（嵐芸祭実行委員会委員長・延原亜沙美）

NEWS

最新の情報をお届けします。

ホームカミングデイ開催報告

嵐芸祭期間中の10月30日（日）11時30分から、本部キャンパス学生食堂において恒例の「嵯峨芸・嵯峨美ホームカミングデイ」を開催いたしました。卒業生や退職教職員のみなさまをお迎えし、軽食などで歓談していただきました。
森本武学長や佐藤賢次同窓会長のご挨拶に続き、在学生である嵐芸祭実行委員会からの挨拶など、卒業生や教職員、在学生が楽しく交流できるイベントとなりました。
毎年好評の本学ならでは、いけばな嵯峨御流の豪華な生け花が飾られた会場は、華やかな雰囲気に包まれました。
1年に1度の機会ですが、遠方からの同窓生も学園祭を楽しみに来ていただける貴重なイベントです。短い時間でしたが、和やかな雰囲気のなか参加者は名残をおしみながら盛会のうちに終えることができました。
（管理運営グループ）

公開講座

「川喜多里美の仕事」講演会報告

10月4日（火）に本学AVホールで行われた卒業生のジュエリーデザイナー川喜多里美さんの講演会は、午後4時から開始しました。
同じく嵯峨美術短期大学の卒業生で友人の嘉戸浩（「かみ添」主宰）さんとの対談形式で、渡米16年の川喜多さんの仕事の軌跡を、作品写真を交えてお話しいただきました。
現在「SATOMI KAWAKITA JEWELRY」のダイヤモンドをほどこしたアクセサリーは、世界の主要都市にあるブランドショップで販売されています。アメリカで人気の有名ブロガーに取り上げられ、一夜にしてホームページのアクセス数が増え、1人だった工房が12人を雇うほど忙しくなりました。川喜多さんには、成功の秘訣は続けていくこと、あきらめないこと、努力することなど、学生に伝わるように熱心に話していただき、貴重な体験となりました。
（短期大学部・森山幸子准教授）

附属機関

博物館「林遼子展」報告

9月24日(土)～10月30日(日)の期間、本学附属博物館にて「林遼子 ジュエリー 祈りの形象」展を開催いたしました。
2016年度附属芸術センター研究員である林遼子さんは、本学観光デザイン学科の卒業生でもあります。本展は学生時代に興味を持ちはじめ、後に研究を重ねてきた中国少数民族のミャオ族の文化的側面と、林さんご自身が手掛けたジュエリー作品を紹介する内容で、会場ではミャオ族が手掛けた装身具29点に加え、これまで林さんが制作した指輪、イヤリング、ネックレスなど57点の計86点が一堂に会しました。独創的なデザインかつ贅沢に宝石がちりばめられたジュエリーの展示は、本学附属博物館では展示例がなく、デザインやプロダクトを専攻する在学生の中には刺激を受けた者もいたようで、何度も繰り返し来館している姿がありました。およそ1か月の開館期間ではありましたが750名を超える鑑賞者に、オリジナリティあふれる林さんのジュエリーの世界を感じていただくことができました。
（社会連携・研究支援グループ）

NEWS

最新の情報をお届けします。

附属機関

「たま作品展」開催しました。

客員教授たま先生の作品展「Tama exhibition in SAGA 2」（主催：嵯峨芸術センター・E.M.L.）が、11月10日(木)～24日(木)まで附属博物館で開催されました。展覧会は原画11枚、複製原画32枚、B全サイズに拡大した作品4枚で構成。透明水彩で描かれた繊細で優美な作品に、来場した学生からため息が出ていました。
また、今回は未公開の新作も展示され注目が集まりました。会期初日の10日には、たま先生ともんちほし（イラストレーター）さんとのアーティストトークも行い、100名以上が来場しました。透明水彩を使用している理由や、少女をテーマに描くのは何故か、絵描きとして生計を立てるにはどうしたらよいのかなど丁寧に答えていただきました。
本学では、今後もたま先生の作品展示を定期的に続けていこうと思います。
（芸術学部・安齋レオ准教授）

各種連携事業

右京警察署と連携授業

本学と京都府警右京警察署は、昨年度に引き続き協定にもとづく連携授業を行うこととなり、11月9日（水）に団結式を行いました。
当日は府警マスコットの「ポリスまろん」と「ポリスみやこ」も友情出演、学生は右京警察署長と江村芸術学部長から温かい励ましを受け、続いて右京署生活安全課および交通課から防犯や交通安全に関するレクチャーを受け、あらためて防犯や交通安全意識の向上を胸に誓いました。
この連携授業は導入教育でもあり、芸術学部デザイン学科一回生が警察官および住民の目線でフィールドリサーチを行い、グループで企画案を練り、「右京区をもっとすみやすい街にするための提案」を行うことになります。学生は社会を意識しながらデザインワークの一連の作業を経験することで、デザインの役割や可能性を真剣に探究するようになります。成果として2017年2月に本学で開催される「進級制作展」でプレゼンテーションおよび制作物展示を行う予定です。
（芸術学部・佐藤文郎教授）

SCCウェブサイト開設

11月より、SCC（サガ・クリエイターズクラブ）のウェブサイトを開設しました。
SCC（サガ・クリエイターズクラブ）は2013年11月の発足以来、会員の作家活動や社会的活動の支援、会員相互の親睦と交流、大学との連携事業の情報提供などを目的として活動してまいりましたが、さらなる発展を目指し独立したウェブサイトを立ちあげました。
このサイトでは、これまでどおり会員の展覧会やイベントの情報を発信するとともに、新しい試みとして、会員の作品をウェブ上で鑑賞できるウェブギャラリーとして活用できるようにしています。作品を通じて会員相互の交流を深める一助に、また大学と産業界や官公庁などとの連携事業のツールとしても活用していきたいと思います。
会員でなくてもこのサイトは自由に閲覧することができますが、会員となってクリエイター登録をしていただくと、ニュース記事や作品を自由に投稿することができます。
ぜひたくさんの方にこのサイトを閲覧いただき、会員の活動を知っていただく機会となればと願っています。
（学長室）

SCC（サガ・クリエイターズクラブ）
ウェブサイト

https://scc.kyoto-saga.ac.jp

告知

第45回「卒業・修了制作展」「進級制作展」告知

芸術大学にとって1年に1度、大学をあげて行う一大イベント「卒業・修了制作展」を2月1日(水)～5日(日)に京都市美術館にて開催いたします。この展覧会では、芸術学部4回生、大学院生、短期大学部2回生、専攻科生の作品を発表します。「芸術の力を究める」の教育スローガンのもと、それぞれの専門分野で知識や技術を身につけるべく日々研鑽を積み、感性を磨いてきた学生たちの集大成となる展覧会です。ぜひ足をお運びください。

また、時期を合わせて2月1日(水)～5日(日)に大学内で「進級制作展」を開催いたします。この展覧会では、主に芸術学部1・2・3回生、短期大学部1回生の作品を、学生たちが日ごろ授業や制作活動で使用している講義室や実習室、ギャラリーなど学内の各所に展示します。
「卒業・修了制作展」「進級制作展」、いずれも個性豊かで、瑞々しい感性にあふれた作品をぜひご覧ください。
(制作展WG)

第45回「卒業・修了制作展」

会期：2月1日(水)～5日(日) 9:30～17:00(入場は16:30まで)
会場：京都市美術館
交通：地下鉄東西線「東山」駅から徒歩10分 市バス「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車すぐ

2015年度卒業・修了制作展(京都市美術館)

第45回「進級制作展」

会期：2月1日(水)～5日(日) 9:30～17:00(入場は16:30まで)
会場：京都嵯峨芸術大学 本部キャンパス
交通：阪急電車「松尾大社」駅から徒歩20分(スクールバス有) 京福電鉄「車折神社」駅から徒歩5分
京都バス・市バス「車折神社前」下車徒歩3分

2015年度進級制作展(本学キャンパス)

INFORMATION

本学関係者による展覧会情報

芳木麻里絵／芸術学部造形学科 版画
『触知の重さ-Living room-』

会　期：1月17日(火)～2月4日(土)
会　場： SAI Gallery(大阪・肥後橋)

前田愛美／芸術学部造形学科 版画
『PICK UP THE PIECES』

会　期：1月7日(土)～22日(日)
会　場：JINEN GALLERY(東京・小伝馬)

附属博物館 スケジュール

『大学院学位審査展』※場所は変更になる場合があります。

会　期：1月16日(月)～25日(水)(予定)、休館日／なし
時　間：12:00～17:00

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

『第3回 京都・木と山の写真コンテスト』

会　期：1月6日(金)～9日(月・祝)、休館日／なし
時　間：10:00～17:00(最終日16:00)

『大学院学位審査展』※場所は変更になる場合があります。

会　期：1月16日(月)～25日(水)(予定)、休館日／なし
時　間：12:00～17:00

『京都嵯峨芸術大学生涯学習講座受講生作品展・後期』

会　期：2月18日(土)～24日(金)(予定)、休館日／なし
時　間：10:00～17:00(最終日16:00)

『三宅章介+藤本秀樹 退職記念展』

会　期：2月28日(火)～3月19日(日)、休館日／3月6日(月)
時　間：11:00～18:00

アートプレイス スケジュール

アートスペース嵐（玄関ホール）

『大学院学位審査展』※場所は変更になる場合があります。

会　期：1月16日(月)～25日(水)(予定)、休館日／なし
時　間：12:00～17:00

『京都嵯峨芸術大学生涯学習講座受講生作品展・後期』

会　期：2月18日(土)～24日(金)(予定)、休館日／なし
時　間：10:00～17:00(最終日16:00)

アートスペース嵐（玄関ホールギャラリー）

『大学院学位審査展』※場所は変更になる場合があります。

会　期：1月16日(月)～25日(水)(予定)、休館日／なし
時　間：12:00～17:00

『京都嵯峨芸術大学生涯学習講座受講生作品展・後期』

会　期：2月18日(土)～24日(金)(予定)、休館日／なし
時　間：10:00～17:00(最終日16:00)

有響館2階 学生情報フロア 南側部分

『大学院学位審査展』※場所は変更になる場合があります。

会　期：1月16日(月)～25日(水)(予定)、休館日／なし
時　間：12:00～17:00

有響館2階 エントランスホール

『大学院学位審査展』※場所は変更になる場合があります。

会　期：1月16日(月)～25日(水)(予定)、休館日／なし
時　間：12:00～17:00

※会期、時間、休館日などは都合により変更になる場合があります。
※2月1日(水)～5日(日)は、第45回進級制作展を開催します。

連続公開講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知識や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍していらっしゃる講師をお招きして、ご講演いただいています。

第109回 京都竹工芸の魅力～伝統の技を現代の意匠に～

日　時：1月21日(土)14:20～
講　師：山崎　智子<京都竹工房　ゆうすい主宰>

※有響館G401教室にて開催(参加無料)
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898　社会連携・研究支援グループ

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日　時：2月18日(土)　13:00～

※有響館1階附属図書館内にて開催(入場無料)
大学授業・行事等により開催日やテーマを変更する場合があります。
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898　社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、リサイクル品だけでなく、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、芸術大学ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出店いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

vol.12 サガノミノイチ

日　時：3月25日(土)11:00～16:00

※天候や、大学授業・行事等により開催日を変更・中止にする場合があります。
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898　社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Jan.2017 — Apr.2017

1月	7日(土)	年始授業開始
	14日(土) 15日(日)	大学入試センター試験 (本学実施)
	23日(月) ～28日(土)	授業予備日
	27日(金)	学園創立記念日 (授業予備日)
	30日(月)	平常授業終了
2月	1日(水) ～5日(日)	第45回「卒業・修了制作展」 (京都市美術館) 第45回「進級制作展」(本学) ※2月5日(日)　制作展見学ツアー
	3日(金)	一般入試(前期)(大学・短大) 海外帰国生入試(後期) 社会人入試(後期) 外国人留学生入試(後期)
	24日(金)	専攻科入試(後期)(短大) 3年次編入学入試(後期) 大学院入試(後期)
3月	11日(土)	一般入試(後期)(大学・短大)
	12日(日)	スカラシップ入試(後期) (大学・短大)
	17日(金)	卒業・修了式(本学、講堂) 祝賀パーティー (教育後援会主催)
	26日(日)	オープンキャンパス
4月	1日(土)	入学前ガイダンス
	3日(月)	入学宣誓式
	4日(火) ～7日(金)	新入生オリエンテーション期間
	10日(月)	通常授業開始

今号の色　朱色

朱色(しゅいろ)は一般に、朱肉のような少し黄色がかった赤のことを指します。縄文時代からあったもっとも古い色のひとつで、貝塚などからこの色をあしらった土器や土偶なども見つかっています。天然産のものは辰砂から精製されますが、硫化水銀を主成分とする無機朱色顔料から作り出されたものは、区別して「銀朱」と呼びます。

KYOTO SAGA UNIVERSITY OF ARTS
学校法人 大覚寺学園
京都嵯峨芸術大学
京都嵯峨芸術大学短期大学部

京都嵯峨芸術大学公式 Facebook
京都嵯峨芸術大学公式 Twitter
京都嵯峨芸術大学公式 YouTubeチャンネル

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代)　FAX.075-881-7133　http://www.kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨芸術大学広報　第59号　2016年12月14日発行　編集：京都嵯峨芸術大学 入学広報グループ
発行：学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部
info@kyoto-saga.ac.jp